

平成25年度 東北地区SSH指定校発表会

つながる・広がる・研究の輪。

2月1日(土)・2日(日)の両日、東北地区のSSH指定校17校の代表ら、33名の生徒が本校に集い、日頃の研究活動の成果を披露しあつた。



講堂で行われた口頭発表会の様子。

本校代表の鹿俣顕典君(右上)。本校理科科生徒は司会や受付などの運営スタッフとしても大活躍。

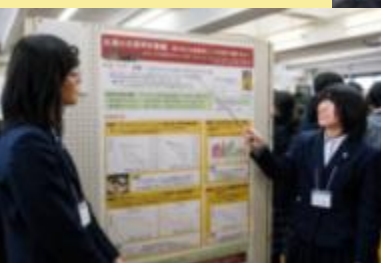
口頭発表部門の最優秀賞は青森県立八戸北高校の研究「八戸市牛ヶ沢遺跡から産出した縄文土器の胎土分析」に贈られた。

ポスター発表 総数 44題
(発表・質疑応答 計8分)

ポスター部門優秀賞受賞！

「紅葉の生態学的意義：葉の赤化は被食物としての性質に影響するか？」

門倉 眞由、高世 瑞貴
八島 若奈、渡部 あすか



＜本校代表ポスター発表＞

「地球磁場を利用した縄跳び発電の考察」

奥山 雄基、海和 雄亮、佐藤 彰、中山 智貴、渡辺 倫孝

「マスクング法及び中和法を用いた酪酸臭気低減効果について」

伊藤 望、太田かすみ、奥村 鈴音、上村 英綱
木村 匠吾、郷 朝紀、佐藤 歩、佐藤 優雅
鈴木 郁、諏訪 溪樹、中根ゆき乃

サイエンスカフェ 開講講座

嫌気性微生物を利用した生ゴミからのメタン生成	加来 伸夫 先生 (山形大学農学部)
超伝導(ある温度以下まで冷却すると電気抵抗が本質的にゼロになる現象)について	神戸 士郎 先生 (山形大学工学部)
有機エレクトロルミネッセンス(有機EL)の発明・開発	城戸 淳二 先生 (山形大学工学部)
数学教育・情報教育におけるテクノロジーの活用	清水 克彦 先生 (東京理科大学理学部)
GIS(地理情報システム)とリモートセンシングを用いた環境研究	原 慶太郎 先生 (東京情報大学総合情報学部)
クモの糸を利用した紡糸の技術の開発や紡糸機械の設計	村田 真也 先生 (スパイバー株式会社)
果物の樹上完熟技術や長期貯蔵法の開発	村山 秀樹 先生 (山形大学農学部)
有効場の理論の研究、インターネット望遠鏡の開発と活用	山本 裕樹 先生 (東北公益文科大学公益学部)
文化財保存・文化財分析における化学	米村 祥央 先生 (東北芸術工科大学文化財保存修復センター)



口頭発表 総数 17題
(発表10分・質疑応答5分)



質疑応答では熱い議論が交わされた。仙台第一高校、古川黎明高校、仙台第三高校の3校は英語でプレゼンテーションをした。写真左下は仙台一高による発表「KMnO₄-Na₂C₂O₄ Redox Titration - The effect of Mn²⁺ as a catalyst」。



講演会企画 サイエンスカフェ也大盛況

